

## 地震災害とは？

地震による災害は、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。建物倒壊や土砂崩れなどによって道路が通れなくなったり、線路の安全確認により電車が動かなくなる交通障害もあります。また停電やガスの停止、水道の断水が起こる場合もあり、電話やインターネットもつながりにくくなります。

## 地震のときの行動は？

地震の揺れを感じた場合や緊急地震速報を見聞きした場合は、あわてずにまずは身の安全を確保してください。そして落ち着いてテレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンなどで正確な情報の把握に努めましょう。

### 地震発生

1~2分

### 最初の大きな揺れは約1分間

- あわてずに身の安全を確保する

### 揺れがおさまったら

- 火元を確認する 火が出たら、落ち着いて初期消火する
- 家族の安全を確認する 倒れた家具の下敷きになっていないか確認する
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- 避難するときは、屋根瓦の落下・ブロック塀の倒壊・自動販売機などの転倒に注意する



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- |                |               |                         |
|----------------|---------------|-------------------------|
| 隣近所に<br>声を掛けよう | ●要配慮者の安全を確保する | ●隣近所で助け合う               |
| 出火防止<br>初期消火   | ●消火器を使う       | ●余震に注意する                |
|                | ●漏電・ガス漏れに注意する | ●ケガ人はいないか確認する           |
|                |               | ●電気のブレーカーを下ろす・ガスの元栓を閉める |



3分

### テレビ・スマートフォン・ラジオなどで正しい情報を確認する

- 防災機関、自主防災組織の情報を確認する
- デマにまどわされないようにする ●避難時に車は極力使用しない
- 電話は緊急連絡を優先する



5分

### 協力して消火活動、救出・救護活動をする

- 水、食料は蓄えているものでまかなう
- 災害・被害情報を収集する ●壊れた家に入らない
- 近くの人を救出・救護する



10分  
数時間  
3日

## 屋内にいる場合

### 家の中

- 頭を保護しながら丈夫な机の下などに隠れる
- 火の確認はすみやかにする（ガスの元栓の処置も忘れずに）
- 高齢者や障がい者、乳幼児など要配慮者の安全を確保する
- 裸足で歩き回らないようにする（ガラスの破片などでケガをしないため）

### 大規模店舗や集客施設にいるとき

- つり下がっている照明などの下から避難する
- あわてて出口や階段に殺到しない

### エレベーターに乗っているとき

- 最寄りの階で停止させて、すぐに降りる

## 屋外にいる場合

### 路上

- ブロック塀や自動販売機には近づかず、ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意する
- 頭をカバンなどで保護する

### 車を運転中

- あわてて急ハンドルや急ブレーキをかけず徐々に速度を落とす
- 避難するときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない
- 車検証などの貴重品を忘れずに持ち出す

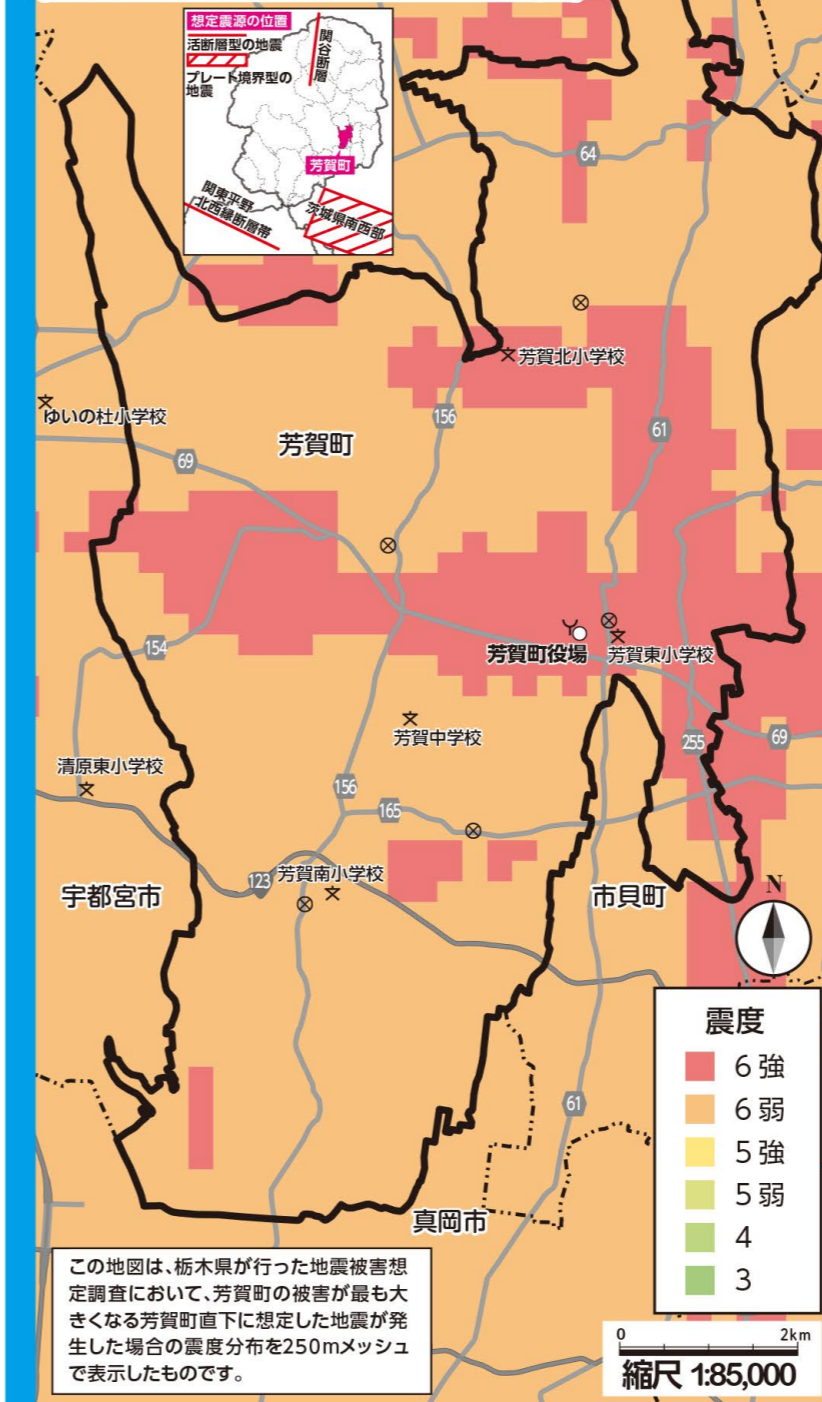
### 山や崖付近にいるとき

- 落石や崖崩れに注意し、できるだけその場から離れる



## 震度分布図

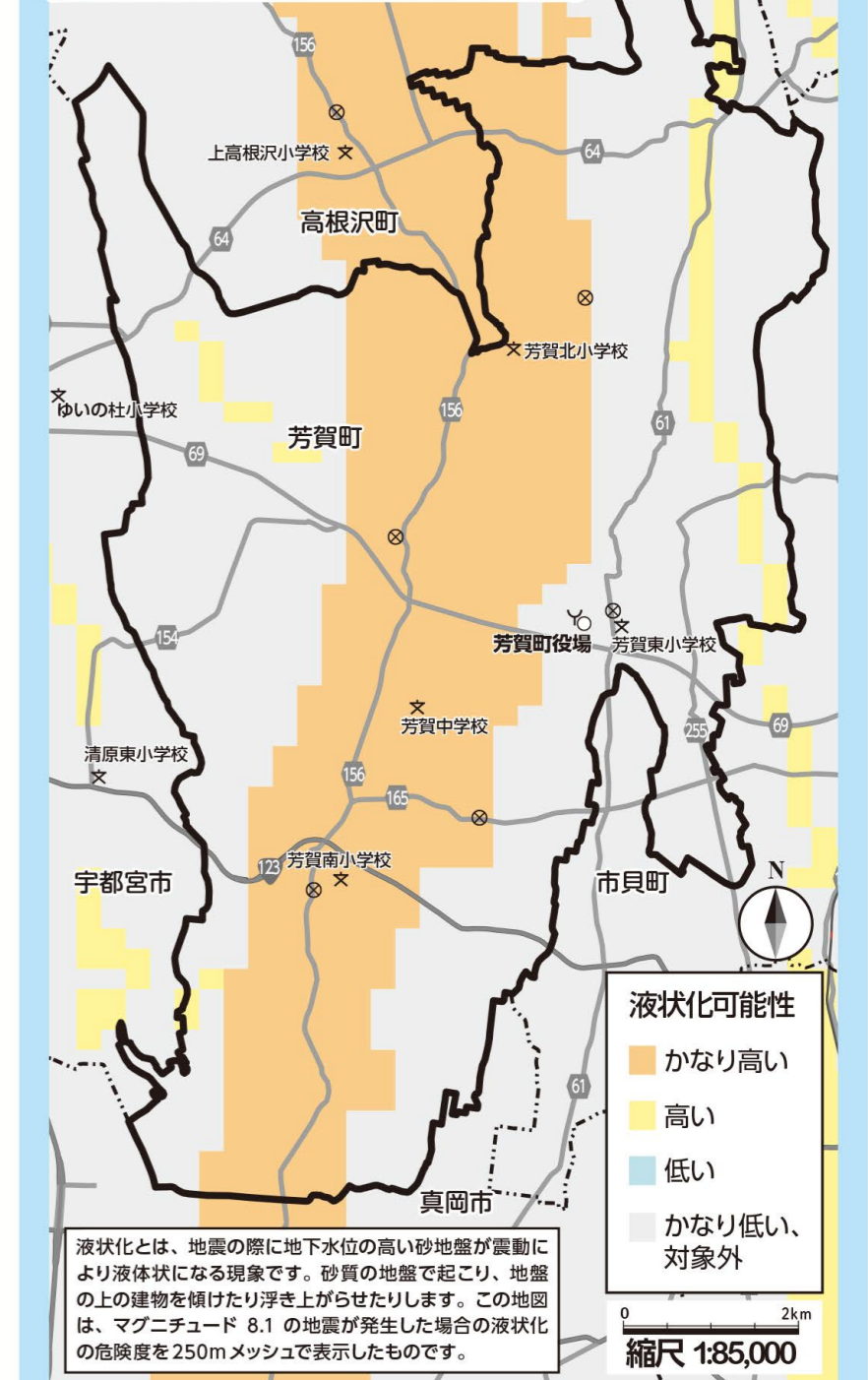
(芳賀町役場直下に想定した地震)



この地図は、栃木県が行った地震被害想定調査において、芳賀町の被害が最も大きくなる芳賀町直下に想定した地震が発生した場合の震度分布を250mメッシュで表示したものです。

## 液状化可能性分布図

(芳賀町役場直下に想定した地震)



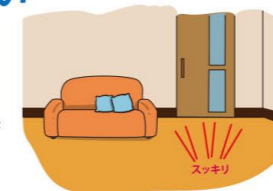
液状化とは、地震の際に地下水位の高い砂地盤が震動により液体状になる現象です。砂質の地盤で起こり、地盤の上の建物を傾けたり浮き上がらせたりします。この地図は、マグニチュード 8.1 の地震が発生した場合の液状化の危険度を250mメッシュで表示したものです。

© 2023 ZENRIN CO., LTD.

## わが家の安全対策

### ●家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる 出入口や通路にものを置かない

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。



### ●寝室、子どもや高齢者のいる部屋には家具を置かない

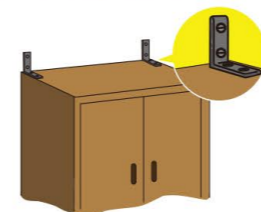
就寝中に地震に襲われると危険。子どもや高齢者、障がい者、乳幼児などは逃げ遅れる可能性がある。枕元には靴、懐中電灯、笛などを入れた袋を用意する。倒れた家具が妨げとなって逃げ遅れる可能性があるので倒れそうな家具は置かない。



## 家の中の転倒落下を防ぐポイント

### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



### テレビ

できるだけ低い位置に固定しておく。家具の上はさける。



### 冷蔵庫

ベルトなどで背面と壁を固定する。背面上部のベルト取付け部分と壁とをベルトで連結すると効果が高くなる。

